

科目名	機能解剖学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間 (4単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

機能解剖学は、解剖学が人体構造を主として扱うのに対して、それと不可分の機能との関連性も併せた運動学的様要素を持つ学問である。この授業では、人体の構造、形態を主に下肢に焦点をあてながら系統的に学びつつ、その機能について整形靴製作技術と関連づけることで、より実践に生かせる知識の習得を目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

授業は講義形式で、主にシューフィッティングに必要となる下肢の機能解剖について系統的に学ぶ。授業内容に合わせて適宜小テストを行う。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

- ①基本用語・関節運動用語・骨・関節・筋・神経の総論についての知識を習得する。
- ②下肢の骨・筋・関節・神経の構造と機能についての知識を、製作技術に関連付けて理解する。

回数	講義内容
1	講義1：ガイダンス
2	講義2：基本用語(からだの方向用語・区)
3	講義3：基本用語・運動器総論・運動用語
4	講義4：基本用語・運動用語・関節運動用語・骨・関節の総論
5	講義5：基本用語・関節運動用語・骨・関節の総論
6	講義6：骨・関節の総論・骨(脊柱・下肢)
7	講義7：骨(脊柱・下肢)
8	講義8：骨(脊柱・下肢)
9	講義9：足部の関節
10	講義10：足部のアーチ構造とその機能
11	講義11：足関節とその機能、下肢の靭帯
12	講義12：下肢の関節・靭帯(股・膝・足関節の靭帯)
13	講義13：下肢の関節・靭帯(股・膝・足関節の靭帯)
14	講義14：下肢の関節・靭帯(股・膝・足関節の靭帯)
15	講義15：下肢の関節・靭帯(膝関節・膝関節の靭帯損傷)
16	講義16：下肢の関節・靭帯(足関節)、下肢の筋と運動(筋の種類・骨格筋の作用)
17	講義17：下肢の筋と運動(股関節周囲筋とその作用)
18	講義18：下肢の筋と運動(膝関節周囲筋とその作用)
19	講義19：下肢の筋と運動(膝関節周囲筋とその作用)
20	講義20：下肢の筋と運動(下腿筋とその作用)
21	講義21：下肢の筋と運動(下腿筋とその作用)
22	講義22：下肢の筋と運動(足部内在筋とその作用)
23	講義23：下肢の筋と運動(足部内在筋とその作用)
24	講義24：神経系(脊柱の復習・神経系の構成・分類)
25	講義25：神経系(脊柱の復習・神経系の構成・分類)
26	講義26：神経系(神経系の構成・分類・脊髄神経)
27	講義27：神経系(神経系の構成・分類・脊髄神経)
28	講義28：神経系(下肢の神経支配)
29	講義29：神経系(下肢の神経支配)
30	講義30：終講試験
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
基礎運動学 第6版 補訂	中村隆一 他	医歯薬出版株式会社
解剖学の手びき (一部資料として配布)	池田敏子・寺田春水	南山堂

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

終講テスト60%+毎回の小テスト合計40%で評価